



■最近体調がすぐれない鈴木さん。食欲もなく、だるくて眠れない日々が続いています。検査をしても、胃潰瘍以外、身体的な異常はみつからないものの、数社の消費者金融に借金があり、つらい日々を送っています。



(廊下)

看護師：具合大丈夫ですか？

患 者：・・・・・・・・（深刻に悩んでいる様子）



看護師：何か、心配なことがおありですか？

患 者：・・・・・・・・ええ・・・・・・・・大丈夫です・・・・・・・・



看護師：なにか悩んでいらっしゃる事がおありなのですね。
もしよろしければ、少しお話を聞かせてくださいませんか。

患 者：申し訳ありません。

体調が悪くて、とても辛いんです。もう、治らないんじゃないかと心配で。



看護師：どのように心配なんですか？

患 者：検査では異常はないとのことでしたが、だるいし、食欲も出ないし。
ガンではないかと…



看護師：たしかに主治医の先生も異常はないとおっしゃっていましたね…
でも、体調が悪く、ガンかもしれない・・・と心配なんですね。

患 者：はい。とても体調が悪くて、具合も悪いので・・・
生きているのが嫌になるくらいなんです・・・・・・・・

看護師：・・・もしかして、死にたいと思われていますか？

患者：ええ、最近はよくそう思ってしまうんです。

看護師：そうですか。それほどおつらい状況だったのですね。

患者：はい。

看護師：具体的な方法を考えたことがありますか？

患者：このまま、練炭で自殺しようかと思って…でも、してません。

看護師：本当にお辛いんですね。

患者：はい。

看護師：そう思うようになったのは、いつごろからですか？

患者：ここ最近、特に調子が悪くて…

看護師：もしよかったら調子が悪いところを話していただけませんか？

患者：食べられないし、眠れないし、とてもだるいんです。

看護師：そうでしたか。

ちょうど、次があなたの診察になるので、先生に相談してみませんか？

患者：大丈夫でしょうか。

主治医の先生に何か文句を言っているように思われませんか？

看護師：大丈夫ですよ。先生もしっかり相談にのってくれると思います。

患者：そうですか、それではお願いします。

(診察室)

看護師：(内線電話をかける)先生、スズキさんのことなんですが…

医師：ああ、スズキさんですね。どうされました？

看護師：先週、先生から検査の説明をしていただいたと思いますが、まだ調子が悪くて心配されているようです。どうも、死にたくなるくらい追い詰められているようで。



医 師：そうですか。それでは順番が来たら、少し様子を聞いてみます。

看護師：そうですか。よかった。

(診察室)

医 師：(診察室に入ってくる) 失礼します。

患 者・家族：先生、すみません。

医 師：看護師に少しお聞きしましたが、体調がすぐれず心配されているようですね。私達はあなたが困っていることについて、一緒に考えあなたの助けになりたいと思っています。

遠慮なく心配されていること話してくれませんか。

患 者：ありがとうございます。実は、先週の検査の結果で異常はなく、ガンの心配もないと説明していただきました。

医 師：そうでしたね。

患 者：それなのに、食事はできないし、だるいし、眠れないし、体調が悪いんです。どうしてだろうと思って、悩んでしまっ

医 師：確かに先週説明したように身体的に異常はなく、ガンの疑いもない状態です。

患 者：そうですか。でも先生、体調が悪いのはどうしてなのでしょう。とても体調が悪くて、つらいんです。もう死んでしまいたいくらいなんです。

医 師：とても体調が悪くて辛いですよね。死にたくなるくらいなんです。

患 者：そう、なんで治らないのかって、ずっと体調が悪いんです。仕事も休んでますし、このままでは会社に行くこともできないし、どうしたらいいのかと思って…

医 師：もう死ぬしかないと思って、具体的に自殺を考えることはありますか。看護師にも話していたようですが…

患 者：ええ、練炭で自殺しようかと思い悩んで…車に積んでいるんです。

家族：(初めて聞いて) そうなの？



患者：そうなんだ…

医師：その練炭はこちらで預かってもらってもよろしいですか？

そのような手段をとらないで済むように、一緒に悩んでいることを考えていきませんか？

患者：はい。

医師：奥さんもよろしいですか。

家族：はい、お願いします。どうも最近悩んでいる感じで。

医師：どんなことを考えると辛くなりますか？

患者：やっぱり、体調不良が治らなければ会社に行けなくなるし、そしたら自分はもうだめだ、と考えてしまいます。

医師：そうですか。

何かそのように心配されていることで思い当たることはありませんか？

患者：はい……実は……150万円ほど借金がありまして……返済できず、どうしようもなくなって……もうどうにもならないんです。

医師：お金のことで悩んでいらっしゃるんですね。

患者：はい。たった150万といいますが、私には大金なんです。借金のことを考えると、絶望的な気持ちになります。

家族：本当にお金のことでは正直困っていました。でも、どうすることもできないし。

患者：本当は、一生懸命働いて、お金を稼がなきゃいけないと思うんですけど、全然やる気がおきなくて……

医師：がんばろうと思っても、やる気がなくて……

患者：そうなんです。最近は仕事でも失敗ばかりで、上司から「こんな調子だとクビだぞ」と厳しくいわれ……自分が情けなくなります……（泣）



医師：仕事にも支障がでるほど、気分が落ち込んでいるんですね。

患者：はい……こういう状態だったら、まわりにも迷惑をかけるし……だから、もう、私なんて……死んでしまった方がいいんです。

医師：大変でしたね。今まで良く頑張ってきましたね。

患者：はい…（泣）。頑張ってきたんです。でも、もう、最近はだめです……夜は眠れないし…たとえ眠れても、すぐ目が覚めて、寝た感じがしないんです。……つらくて……仕事も休むようになって。それに、食べられない感じがどんどん悪くなって、ガンじゃないかって、不安になってくるんです。

家族：どうも心配しすぎているような気がするんですが。

患者：丁度、若い頃父を胃癌で亡くしました。今の私と同じような症状で……。見つかった時にはもう末期で……。私もそうでないかと思って心配で、考えれば考えるほど不安になってしまっ

医師：それで、心配されているんですね。

患者：はい。以前、母親や私が父にしたように、ガンであることを妻が私に隠しているんじゃないか……とってしまいました。先生も私を安心させるために「ガンではない」と説明しているんじゃないかと。

家族：そんなことはないって、本人にも伝えていたんですが。先生からも違うとっていただくといいんですが。

医師：そうだったんですね。とてもお辛い状況だったのではないですか。

患者：はい……（すすり泣く）

医師：スズキさんが心配されている体調についてですが、今のところ、ガンを疑わせる病変はありません。検査や診察の結果でも、その所見はありませんでした。ですから大丈夫ですよ。

患者：本当でしょうか。

医師：本当です。現時点では胃潰瘍以外の病気は見当たりません。しかし、身体に原因がないにも関わらず、だるい、眠れない、食べることができない。そういう体調不良があって、その症状がだいたい続いているようなので心配ですね。

患者：はい、とても辛くて…



医師：本当にお辛いと思います。今のあなたの状況は、とても落ち込んでいて以前のあなたとはまるで違う状況なのではないですか？

患者：はい。以前やれていたことがやれなくなって、頑張りがきかなくて・・・

医師：おそらく、うつ状態だと思います。うつ状態だと、悲しい気持ちになったり、自分を責めたり、死にたいと思うことがよくあるんです。

患者：そうなんですか・・・？

看護師：はい。今はうつに対する治療法がたくさんあります。治療を受けることで、今のつらさが和らぎ、徐々に元のあなたの調子に戻ることができます。

患者：・・・本当にそうなるのでしょうか？・・・もう、良くなる気がしません・・・

看護師：うつの治療を受けることは、とても大切なことなんですよ。

患者：どうすればよいでしょう・・・

看護師：そうですね。治療を受ける時は、こころの病気の治療の専門家に相談することがいいと思います。

患者：はい。例えば、どんなことをしてくれるのですか？

医師：お辛い面に関して相談にのってくれた上で、専門的な治療についてアドバイスしてくれながら、薬の処方をしてくれたり、生活指導をしてくれます。それから、休養の取り方についてもアドバイスをしてくれます。

患者：体調が悪いとなると、リストラされるんじゃないかと思って、誰にも相談できずにいるんです。でも、もう仕事もつらいし・・・



医師：相談できずにいたのですね。お辛かったですよ。
大分、落ち込んでいらっしゃるので、私としてはまず、専門医に、あなたが今、どのような状態なのかを診て頂く必要があると思います。

専門の医師に相談なさってはいかがでしょう？



患者：そうですね。専門の医師に診てもらいます。

医師：それがいいと思いますよ。

患者：そうしたいと思います。



医師：やはり、辛くて死にたくなったり、とても深刻な状態ですから早めにいかれた方がよろしいと思います。こちらの方では引き続き治療をしていきますので。

患者：そうしたいと思います。



医師：これから受診の段取りをしますので、ご家族と一緒にいていただくようにしたいと思います。

患者：はい。それと、医療費のことが心配です。
借金も抱えてどうにもしようがなくて・・・それが頭から離れません。

医師：もちろん医療費のことについてもどのようにしたらよいか一緒に考えていきましょう。病院のソーシャルワーカーと一緒に相談にのってもらうのはいかがでしょう？

患者：どのような相談ができるんですか。



医 師：そうですね。たとえば、制度を活用して医療費の補助や減免ができるかどうか、かかえている借金の整理ができるかどうか。いろいろと一緒に考えてみることでできると思います。



患 者：そうですか。ありがとうございます。

医 師：ソーシャルワーカーさんに入ってもらいましょう。



患 者：ありがとうございます。

(診察室)

医 師：(内線電話) 今受診されている患者様の件で、医療費の件や経済的な面でご苦労されておりますので、一緒に相談できないかと思ひまして。



ソーシャルワーカー：そうでしたか。今受診されている方ですね。

医 師：はい。ガンも疑い検査入院をしていただきましたが、その心配はなくなりました。
ただ、いろいろとご苦労されていてストレスもおありのようで、うつ状態になっているようです。
だいぶ追い詰められていますので、精神科の受診も考えておりますが、経済的問題や医療費についても相談にのっていただくと、ご本人もだいぶ安心されると思います。



ソーシャルワーカー：そうですか。それでは、今伺います。

医 師：忙しいところすみませんが、よろしく願いいたします。

(診察室)

ソーシャルワーカー：

こんにちは。病院相談室のソーシャルワーカーです。先生からも経済的な面や医療費のことでだいぶご心配されているとお聞きしました。少しお聞かせいただけますか。

患 者：はい。もう、お金のことが頭から離れなくて・・・仕事もうまくいかないし、もう、自分ではどうしたらいいかわからなくて、八方ふさがり状態なんです。

ソーシャルワーカー：

それは、おつらいですね。

お金のことですが、借金が150万ほどあるということでしたが。



患者：はい。その通りです。



ソーシャルワーカー：

私たちは、鈴木さんが困っていることについて、これからどうしていけばいいのか、一緒に考えて、あなたの助けになりたいと思っています。



患者：はい・・・

ソーシャルワーカー：

あなたが今、困っていること。医療費や、お金のことなど、それぞれ専門の相談機関があることをご存じでしたか？



患者：いいえ・・・詳しくはわかりません。

自分のことだから、自分で何とかしなきゃと思っていましたし、何から手をつけたらよいかわからなくて・・・

ソーシャルワーカー：

そうですね。相談先を探すのも苦労されますよね。

患者：そうなんです。5～6社の消費者金融から借りていて・・・利息ばかり大きくて、返しても返しても、額が少なくならなくて、困ってしまって・・・



ソーシャルワーカー：

借金の解決も必要に思いますが、いかがでしょうか。



患者：そうですね。ずっと悩んでいたんで、そうできるといいですね。

ソーシャルワーカー：

借金の相談にのってくれる専門の相談窓口もあるんですよ。消費生活センターや、法テラスなどの法律相談の窓口でも相談できるし、NPO法人でもいろいろ相談できるところはあるんです。



私たちがからそういうところにつなぐこともできます。よければ、これから今後の問題の解決に向けて、一緒に考えていきませんか？

患者：相談室の相談って、お金かかるんですね。



ソーシャルワーカー：

相談にはお金はかからないんですよ。私が消費生活センターに連絡をとって、関係機関と調整することもできます。もし、ひとりで相談をすることに不安を感じるようでしたら、相談に同席することもできますので、安心なさってください。



患者：そうなるとうれしいです。ひとりではちょっと不安なものですから・・・

ソーシャルワーカー：

わかりました。それ以外にも医療費のことや治療のことで、今後も困ったことがあれば、いつでも相談してきてください。

患者：はい。誰にも相談できなかったので、相談に乗ってもらえると助かります。



ソーシャルワーカー：ご家族も一緒に相談していきましょう。

家族：はい。本当にありがとうございます。

患者：ただ、家族には迷惑かけたくないんで。

家族：私たちのことは大丈夫だから。一緒に考えていきましょう。

ソーシャルワーカー：

ご苦労されているお気持ちはすごくわかります。

私たちもご本人やご家族の気持も踏まえて、一緒に問題を解決していくように協力させていただきたいと思います。

もし、最初に行った病院が合わないと感じましたら、別の病院でも受診することもできます。

ご本人も、ご家族も通院などのことで不安に感じるがありましたら相談にのりますので、いつでもご連絡ください。

患者：わかりました。それだと安心です。

家族：ありがとうございます。

医師：ソーシャルワーカーとも相談しながら、対処していきましょう。

また、こちらでもうつ状態に関して、専門の先生に診ていただけるように、これから連絡をとらせていただきます。

患者：ありがとうございます。

今日は、もう死ぬしかないと思っていましたけど、だいぶ安心しました。

看護師：そうですか。相談してよかったですね。

それではこれから主治医が精神科の先生にご紹介しますね。今日いけるようにこれから精神科の先生に連絡をとりますので…。

時間等を確認して、お伝えするので外来でお待ちになっていてください。

患者：わかりました。私こそありがとうございました。

医師：ご本人も安心されると思いますので、奥様も大変だと思いますけれども、今日は一緒に受診に付き添っていただけますか。

家族：わかりました。話を聞いていただき、私たちも安心しました。

医師：こちらでも引き続き胃潰瘍など体調面については継続して治療していきます。

患者：これからもよろしく願いたします。

